

福祉ながいずみ 社協だより

令和2年

4月1日号

No.256

社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会
長泉町下土狩 967-2 福祉会館内
電話:055-988-3920 FAX:986-3794
http://www.nagaizumi-shakyo.jp



災害ボランティアコーディネーター養成講座 2月15日(土)



避難所運営ゲーム HUG(ハグ)体験

地震や風水害などの災害時、社会福祉協議会は町と連携して長泉町災害ボランティア本部を設置します。

本講座は、災害ボランティア本部の役割を知り、災害時に全国から駆けつけるボランティアと被災された地域住民をつなぐ役目を担う人材を養成することを目的に、ボランティア団体「災害ボランティアネットワーク長泉」の協力を得て開催しています。

講師による災害ボランティアとコーディネーターの役割や心構え、長泉町の災害への取り組みなどの講義、長泉町赤十字奉仕団による炊き出し実演や「避難所運営ゲームHUG体験」を行いました。

受講者には、災害ボランティア本部でコーディネーターとしての活動や、ご近所でお手伝いを必要としている方と災害ボランティア本部等との橋渡し役などで活躍することを期待し、今後も実施していく予定です。

福祉ながいずみは「社協だより」に名称を変更し、より一層地域福祉情報の発信につとめていきます。

令和2年4月1日

地域福祉情報コーナー

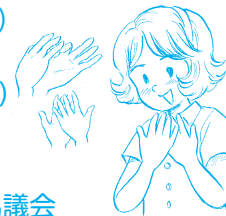
(4)



令和2年度手話奉仕員 養成講座受講生募集

地域に暮らす聴覚障害者から手話を学んでみませんか？
手話や聴覚障害について学び、手話技術や手話表現技術を習得しましょう。講座は厚生労働省全国統一カリキュラムにより行われ、所定の日数に達した方には修了証を発行します。

- と き：令和2年5月21日から
令和3年3月18日まで毎週木曜日
19:00から21:00 (40講座) 期間中の
日曜日2回 (6講義)
- と ころ：長泉町福祉会館
- 定 員：20名 (5/12メ切)
- 対 象：高校生以上の方
- 受 講 料：無 料
- 申込・問合せ：長泉町社会福祉協議会
☎055-988-3920 FAX:986-3794
✉bureau@nagaizumi-shakyo.jp



『長泉スポーツクラブ』

月1回、障がい者スポーツ教室を開催しています。
参加希望者は、下記までご連絡ください。

- 問 合 せ：☎090-3928-6569 (松永さん)
✉tomonori036566@gmail.com
- スポーツ参加者、ボランティアスタッフを募集しています。Facebook「長泉スポーツクラブ」に活動を紹介しています。

♡ やさしい心ありがとう ♡

- 物品寄付(清拭布、使用済切手、野菜他)
相澤清子、相澤多加恵、遠藤恒夫、小笠原マサエ、金田公、佐々木耕治、シニアクラブ竹原、平和リサイクル、三浦順子、三島走友会、村山礼子、山田定子 その他匿名 1名 (敬称略)
- 寄付金、寄贈品
シニアクラブ長泉、福祉会館将棋サークル
その他 匿名 1名 (敬称略)

ご厚志に深く感謝申し上げます。
(令和2年2月1日～令和2年2月29日)

お 知 ら せ 4月12日(日)の「いずみの街コンサート」は11月1日(日)に延期になりました。

社会福祉協議会では次の相談に応じておりますのでご利用ください。月曜日～金曜日

- ボランティア相談 8:15～17:00 ☎988-3920
- 生活困窮相談 8:15～17:00 ☎987-7680 (自立相談支援事業・家計相談支援事業)
- 福祉総合相談 8:15～17:00 ☎987-7680
- 酒 害 相 談 9:00～16:00 ☎987-7680

長泉町下土狩967-2 福祉会館内 電話:988-3920 FAX:986-3794 http://www.nagaizumi-shakyo.jp ✉bureau@nagaizumi-shakyo.jp

福祉会館浴室リニューアル オープンについて

福祉会館の奥側浴室は、令和2年4月1日(水)にリニューアルオープンいたします。従来の人工炭酸泉のほかに、新型コロナウイルス感染症予防対策のため延期します。ご理解をお願いします。



- 問 合 せ：長泉町社会福祉協議会
☎055-988-3920

傾聴(お話相手)サロン 『ふらっとサロン』ご案内

- と き：4月24日(金) 13:30～15:00
- と ころ：長泉町福祉会館
- 参 加 費：無料
- お話し相手：傾聴ボランティアふらっと会員 (秘密は厳守いたします)
- 申 込：不要。気軽にお立ち寄りください。
- 問 合 せ：長泉町社会福祉協議会
☎055-988-3920 (担当：八木)

いずみの郷介護施設職員募集

長泉町社会福祉協議会いずみの郷では、デイサービス職員を募集しています。

- 【募集内容】
- 勤 務 日 時：月曜日～土曜日の間で5日間
8:15～17:15 (休憩60分)
- 給 与：時給+処遇改善手当
- 資 格 条 件：介護福祉士又は介護職員初任者研修修了者・普通自動車運転免許
- 内 容：要介護・要支援・認知症の方などの利用者の直接的な生活援助・利用者の送迎
- 問 合 せ：長泉町社会福祉協議会
☎055-988-3920 (担当：植松)

第45回静岡県障害者文化作品展 特別賞受賞

長泉町身体障害者福祉会ろうあ部会に所属する大川洋司さんの絵画が、静岡県身体障害者福祉会主催文化作品展の文芸書画の部で特別賞を受賞しました。「昨年に続く受賞で信じられない気持ちだ。」と受賞の喜びを語っていました。

なお、大川さんは毎年社会福祉協議会が行う手話奉仕員養成講座の講師を務めており、担当講座で使用する手作りの教材にイラストを用いてわかりやすく教えてくれています。

受賞おめでとうございます。



手話単語を覚えよう ㊦

手を洗う。

ろう者とコミュニケーションしませんか？

協力：身体障害者福祉会「ろうあ部」

水道水で手を洗う様子を表現します。両手の手のひらを合わせて、ゴシゴシと動かします。表情によってイメージが変わります。

A 普段の場合

「う」という口形で



B 丁寧に！ という場合

「い」という口形で



長泉町ボランティア連絡会 団体紹介

問合せ：長泉町社会福祉協議会
☎055-988-3920

どっくふぁみりーきゅ〜ぴっと

殺処分される犬を一匹でも助けたい。殺処分対象の犬を保護し、愛情を注ぎ必要な治療を行うために発足しました。「もう一度土の上を歩かせてあげたい」をモットーに殺処分からの保護、預かりを経て真の家族にめぐり合わせるための小さなお手伝いをしています。

保健所に収容された犬たちはわずか8日目に殺処分の対象になります。殺処分は安楽死ではなく、苦しみ、悲しみの最後となります。犬を迷子にしない、鑑札・消票をつける、飼えなくなったときは里親をみつけていただくなど、最後までかわいがっていただきたいです。

不要になった犬用のケージやペットシートなどありましたら
上記問合せ先に連絡ください。



福祉教育実践校だより

福祉教育実践校とは… 長泉町社会福祉協議会では、児童および生徒の社会福祉への理解と関心を高め地域社会を巻き込んだ福祉を進めるため、福祉教育を町内6校と連携し推進しています。

長泉小学校

長泉小学校では、ボランティア委員が中心となり、アルミ缶と牛乳パックの回収を行っています。また、道徳の時間や総合的な学習の時間などで、各学年に応じた福祉教育を行っています。

4年生は、総合的な学習の時間に「お年寄りのかせになろう」と題し、学習を進めてきました。いずみの郷を見学させていただき、自分で調べたことや見学したことをもとに、交流の仕方を考え、計画しました。2回目の訪問では、風船バレーや劇、坊主めくりなどを一緒に楽しみ交流しました。子どもたちは高齢者の方々とふれ合う中で、思いやりの心を一層強くしました。また、感謝の気持ちをもって接しようという思いを高めることができました。



いずみの郷に訪問し、一緒に交流している様子

南小学校

長泉南小では、6年生が博寿園のお年寄りの方々と交流をしたり、3年生が「名人に学ぶ！」で地域の方から手話を学んだり、各学年に応じて福祉活動を学習に取り入れています。また、福祉委員会が、アルミ缶回収や赤い羽根共同募金の募金活動を通して、リサイクルの大切さや奉仕の心を全校に広める活動を続けています。

4年生では、総合的な学習の時間「バリアフリーを広げよう」で、身体障害者が生活する上でどのような困難があり、どのようにしたら改善できるのかを考えました。そこで、車いすやアイマスクの体験と、手話や点字を使ってみる活動を行いました。実際に車いすに乗ってみると「3cmほどの段差を越えられないことに驚きました。」や、「物を置いて、通路を狭くすると、車いすが通れないから、通路に物を置かないようにしたい。」などの感想が聞かれました。アイマスク体験では、光のない中で歩くことがとても不安で、ガイド役の適切な案内の大切さを感じていました。これらの体験を通し、「困っている人がいたら、声をかけて手伝ってあげたい。」や「体の不自由な人が楽に生活できるように、バリアフリーを広げていきたい。」と、自分には何ができるだろうかと考えられるようになりました。

今後も様々な学習や体験を取り入れ、福祉の心をもって行動できる児童の育成に努めていきたいと考えています。



車いす体験 昇降口の段差を越えることができず、友達に手伝ってもらっているところ

北小学校

長泉北小学校では、3年生の総合的な学習の時間に「しあわせのためにできること」のテーマで、福祉について学習しました。子どもたちは、アイマスク体験を通して、目が見えないと、手をひいてもらっても一歩踏み出すことを怖く感じたり、車いす体験からは、普段何気なく歩いている緩やかな坂道でも、車いすでは進みにくいことを実感したりと、体験して感じたことを話し合いました。

また、耳が不自由な方や足が不自由な方をゲストティーチャーとしてお招きし、生活の中で困っていることをお話いただきました。子どもたちは、音を光に変えるパトライトや電話リレーサービスなど、初めて聞くお話に興味をもちました。車いすでは、駅の利用などが難しいことを聞き、人の優しさや思いやりが大切なことも学びました。障害がある方のお話を聞くことで、自分たちには何ができるのか自分事としてとらえ、実行していこうとする気持ちを育てることができました。



「ささえあう みんなが笑顔に なれるまち」
～住みよい福祉のまちづくりをみんなの手で～

令和2年度 社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会 会員加入（会費納入）のお願い

長泉町社会福祉協議会（略称：社協）では、「住み慣れたこのまちで家族や友人とともに、いつまでも自分らしく暮らしたい」…この思いを実現するために、皆様からの会費をもとに各種の「地域福祉活動事業」を行っています。

社協の会員加入は、区長連絡協議会、各区・各班を通じて各世帯にお願いをさせていただき、会費は各班・各区を通じて集められ（任意）区長様から社協へ納入されます。

また、年間を通じて、個人や団体の方からの「寄付」の受け付けや、企業等による「法人寄付」等様々な呼びかけをさせていただいています。どうか今年も地域福祉活動の推進のために、皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

○普通会費 会費1世帯 300円

（長泉町に住所を有する世帯主様にお願いを
させていただいております。）

○特別会費 会費1口 1,000円

（社協活動への賛助会費として、各班・区
を通じて納入する方法と福祉会館で任意
の時期に納入する方法があります。）



令和元年度会費加入ありがとうございました

普通会費 3,675,900円（12,253世帯）

特別会費 243,000円（243口）

合 計 3,918,900円

社会福祉法人 長泉社会福祉協議会は住民（会員）を主体として福祉活動を推進する組織として社会福祉法第109条に定められた団体です。

<お問合せ> 社会福祉法人 長泉町社会福祉協議会 電話988-3920（福祉会館）

皆様からの会費をもとに行っている地域福祉活動事業

小地域福祉活動の推進

地域における福祉活動を推進するため、活動区に対して助成金交付などの支援をするとともに地域づくりのための研修会等も開催し、人材養成を図っています。

ひとり暮らし高齢者食事会「仲良会」

ひとり暮らし高齢者の仲間づくりと、食生活の改善を目的とした食事会を開催します。

男の料理教室「そば打ち」



ボランティアの養成・活動支援

ボランティア活動者の支援、連絡調整を総合的に
行い、ボランティア支援体制の充実を図るとともに、
ボランティアへの理解と参加を促進するための養成
講座を開催します。

福祉啓発・福祉教育の推進

身近な地域福祉の情報を発信する「社協だより」を毎月発行するとともに、ホームページを通じての情報も発信します。また「福祉健康まつり（10月）」の開催を通じて、地域福祉活動の啓発などを行っているほか、児童・生徒への福祉への理解と関心を高めるため、小中学校・高校に対し福祉教育活動費の助成などを行っています。

黄色い帽子の贈呈

児童の健全育成と交通安全を祈念し、町内小学校新入学児童に黄色い帽子を贈ります。

福祉総合相談

福祉に関する悩みごとや心配ごと等の相談に応じ、必要に応じて他機関との連携を図るなど、総合的な相談活動を実施しています。

日常生活自立支援事業

判断能力が不十分で日常生活に支援を要する人が、地域で自立した生活が送れるよう、各種福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理等の支援を行っています。

各種福祉団体の支援

福祉の向上を目的に活動する団体への助成・支援を行います。